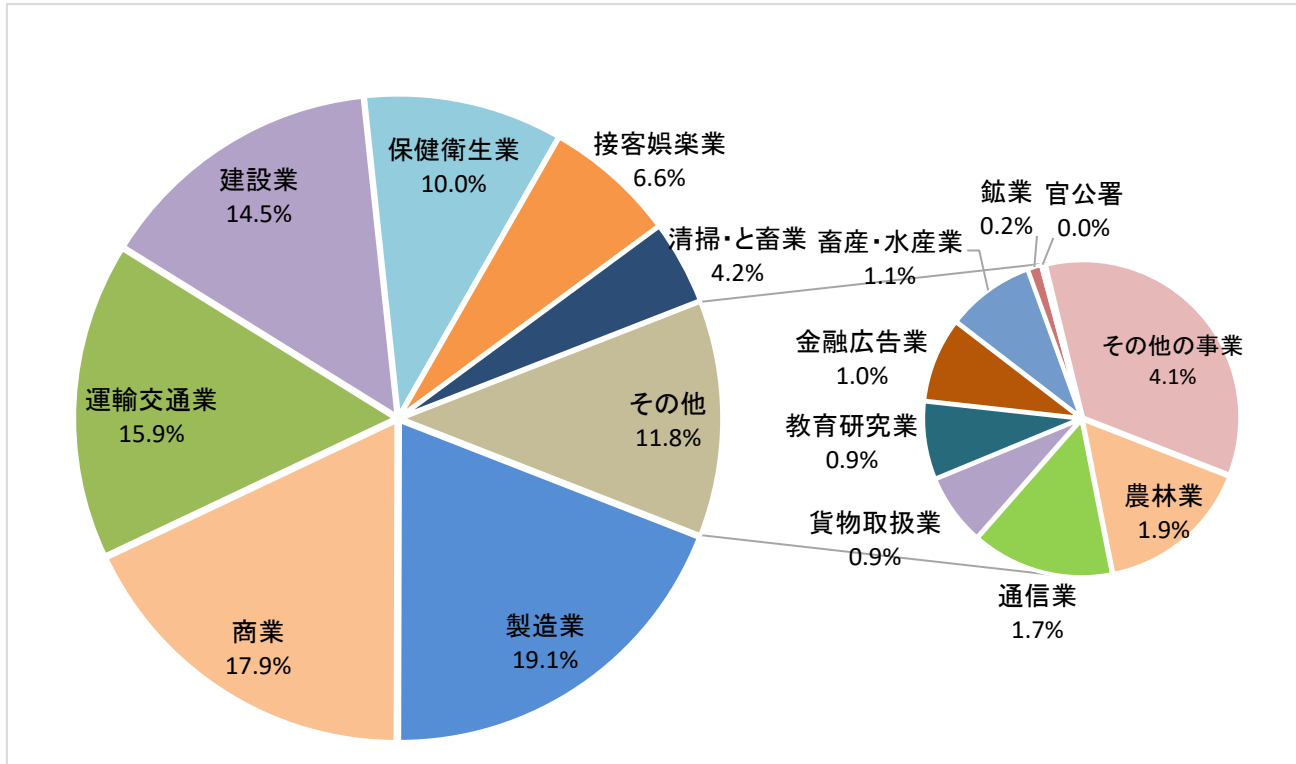


## 11.業種別・各監督署別災害発生状況

### 11-1.令和元年 業種別死傷災害発生状況

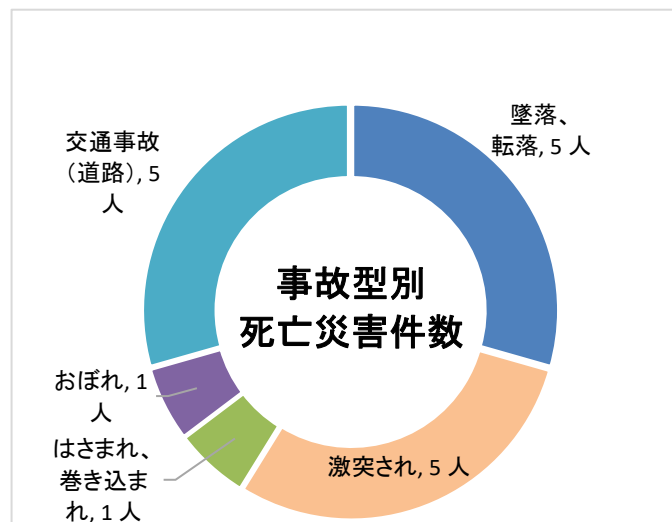
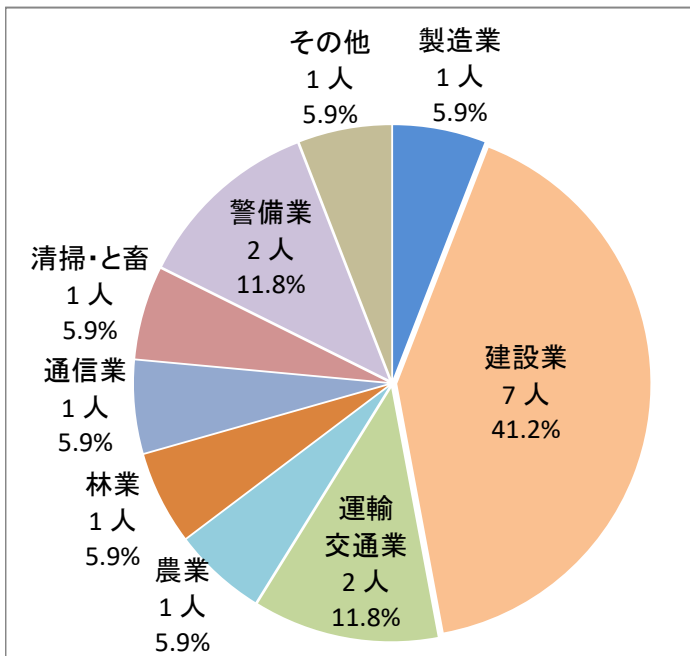
(全産業合計:2,432人)



1. 令和元年の死傷災害の全業種に占める割合は、製造業19.1%、商業17.9%、運輸交通業15.9%、建設業14.5%、保健衛生業10.1%の順となっている。
2. 第三次産業の占める割合は46.6%となっている。

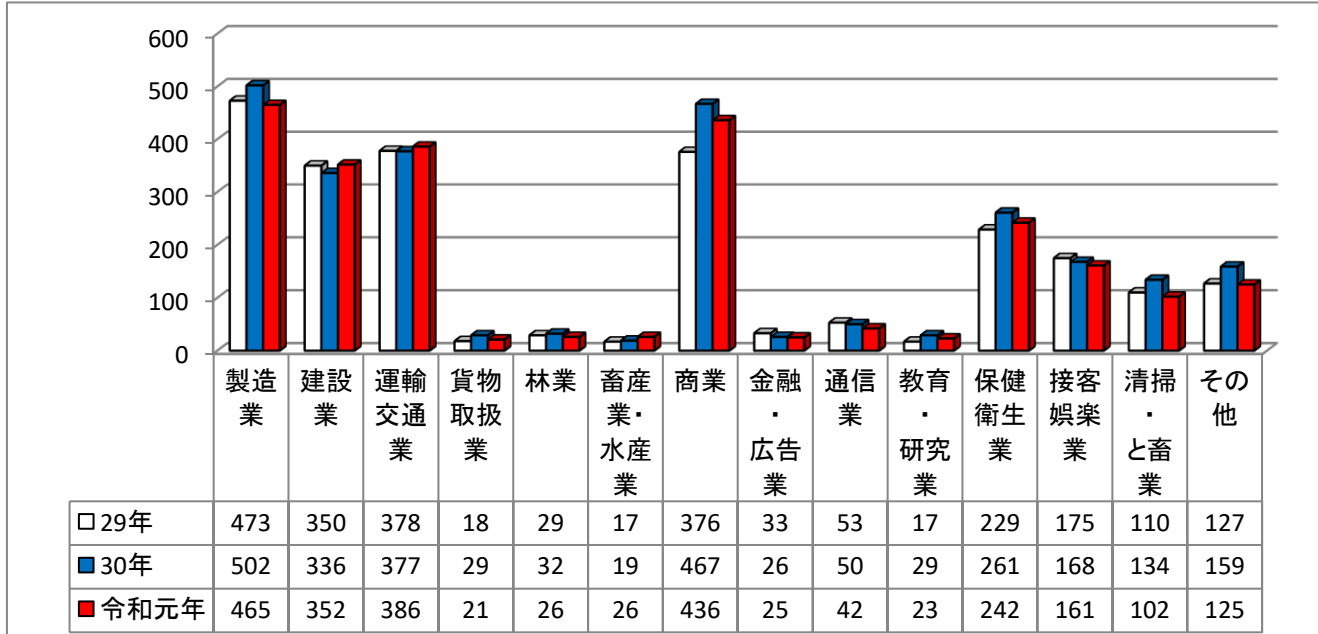
### 11-2.令和元年 業種別死亡災害発生状況

(全産業合計:17人)

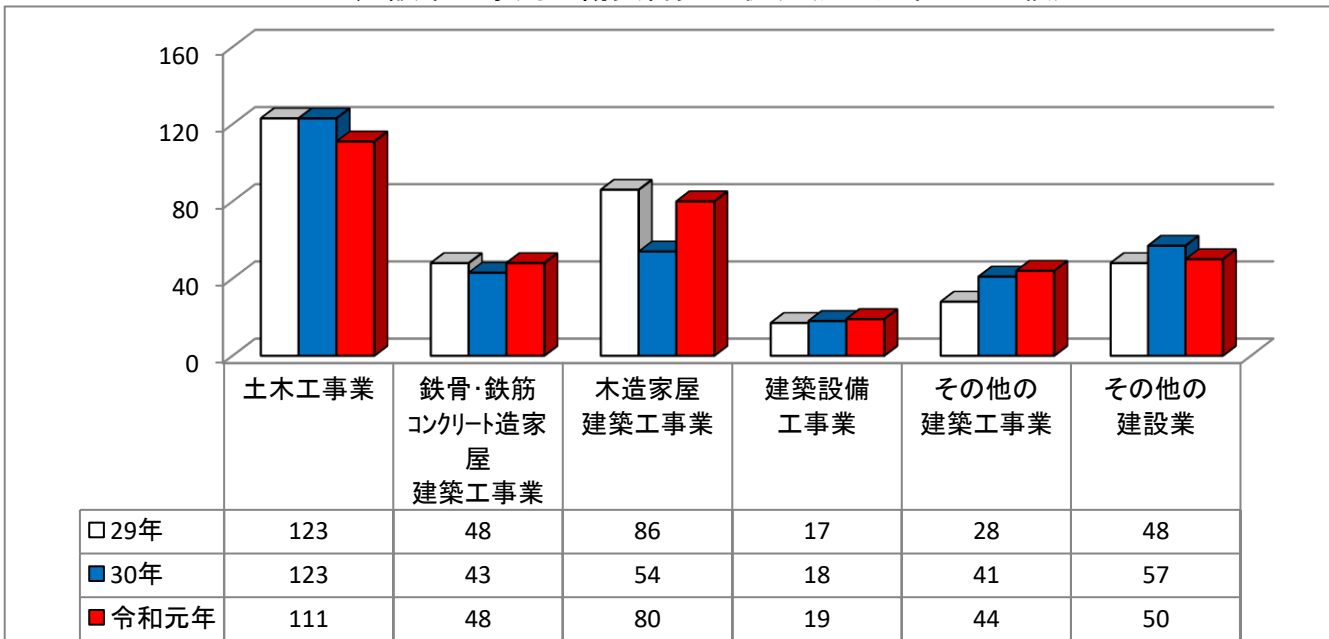


1. 死亡災害の全業種に占める割合は、建設業が7人で最も多く、次いで運輸交通業と警備業(その他の業種)がそれぞれ2人となっている。
2. 事故型別でみると、「墜落・転落」、「激突され」、「交通事故」がそれぞれ5人となっている。

11-3.主要業種別死傷災害発生状況(過去3年との比較)



11-4.建設業工事別死傷災害発生状況(過去3年との比較)



11-5.監督署別労働災害発生状況(過去3年との比較)

(死傷件数)

(死亡件数)

